

平成30年（2018年）12月10日

平成30年度金沢市議会12月定例会月議会 市長提案説明

本日、ここに各位のご参集をいただき、平成30年度金沢市議会12月定例会月議会が開かれますに当たり、市政の概況と提出議案の大要につきまして、ご説明を申し上げます。

**【市政の概況】**

さて、先般の市長選挙で、重ねて市民の皆様から信託を受けることができ、引き続き、金沢市政を担当させていただくこととなりました。改めて、責任の重さを痛感いたしますとともに、身の引き締まる思いでございます。この上は、市民の皆様の御期待に応えるべく、決意を新たにしているところであり、先人が培ってきた伝統や文化を大切にしながら、新たなまちづくりの挑戦を続け、まちの魅力と活力を更に高めて、未来の世代に引き継いでまいりたいと存じます。

さて、自国第一主義や排他主義的な傾向が強まり、力による支配が顕在化するなど、国際社会において、分断化や不安定化の動きが広がりを見せる中で、高齢社会や地球温暖化への対応など、人類共通の課題の解決に向けて、国家間の協調の枠組みや健全で安定した国際秩序の再構築が模索されております。本市がめざす都市像の基本である「交流」と「連携」が、まさに今、国際社会においても求められておりますことから、市といたしましても、「世界の交流拠点都市・金沢」の実現に向けて、重点戦略計画の推進をより一層加速させてまいらねばなりません。

折しも、先月末、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに続き、2025年の大阪万国博覧会の開催が、多くの国の支持を得て決定いたしました。わが国が、停滞期から持続的成長軌道に再び移行し、直面する人口減少・少子高齢社会を克服していくためのきっかけとなることが期待される所であり、加えて、このまちが、これまで以上に活気づいておりますことから、この機を逸することなく、金沢を一層光り輝くまちに発展

させるべく、次の一手を着実に打ってまいりたいと存じます。

即ち、スポーツ文化の推進や建築文化の発信など、まちの個性を生かした施策を推進するとともに、地域コミュニティの充実と市民協働・広域連携の促進、生産性の向上と働き方改革の実現、未来を担う子供施策の充実等に向けて、市民の皆様のご協力をいただきながら、積極果敢に取り組んでまいりる所存であります。

さて、この一年、市政は各般にわたり概ね順調に進展をみることができました。これも偏に、各位並びに市民の皆様のご支援の賜物であり、深く感謝を申し上げます。

先ずは、「活力あふれるまちづくり」についてであります。この間、地域経済の活性化に市としてなし得る最善を尽くしてきたところであります。ここに来て、貿易摩擦による世界経済の停滞が、わが国経済に与える影響が懸念されておりますことから、今後予定される国の第2次補正予算の動向等も見極めながら、公共事業等の前倒しを行うなど、適切な対応を図ってまいりたいと存じます。

また、第4次産業革命に対応した新産業の創出に向けて、既存の市有施設等を活用した価値創造拠点を整備したいと考えており、基本構想の策定を急いでまいりますとともに、デジタル時代を担う次世代の育成に力を注ぎますほか、先月末に金沢版働き方改革推進プランの骨子案がまとまりましたので、年度内を目途に、具体の施策を盛り込んだプランを取りまとめてまいります。

加えて、現在、企業立地等促進委員会において、新たな工業団地の整備箇所について検討を重ねているところであり、年明けには、一定の方向性をお示しできたらと考えております。

なお、先般、明年4月からの宿泊税の活用策が概ねまとまりましたので、パブリックコメントの結果等も踏まえながら、明年度予算に反映させたいと考えており、市民生活と調和した持続可能な観光の振興に努めてまいります。

一方、老朽化が進む卸売市場の再整備につきましては、設置主体や設置場所、民間活力の導入等について、議論を重ねているところであり、年度内の取りまとめをめざしております。

ところで、都市基盤の整備についてであります。都市計画マスタープランの地域別構想の策定に向けて、近く地元説明会を行うこととしており、市民の皆様の理解を得ながら、年度末を目途に取りまとめてまいります。

また、北陸新幹線の延伸につきましては、国家予算編成の動向等を注視しながら、引き続き、大阪までのフル規格による早期全線整備に向けて、関係機関と連携してまいります。ほか、金沢港では、先月、クルーズターミナルの建設工事に着手しましたので、無量寺岸壁の整備と併せ、県とともに明年度中の完成をめざします。

さらに、都心軸沿線にありましては、金沢駅武蔵南地区の再開発や近江町市場における複合商業施設の整備が進んでおりますほか、片町きらら・香林坊交差点間における再開発の事業化に向けて、準備組合が事業協力者の選定作業を先月から開始したことから、市としても、これらを積極的に支援してまいります。

加えて、先月末には、歩行者の憩いの空間となるオープンカフェが、下堤町の民間ホテルにオープンしましたので、引き続き、次なる設置を関係事業者等に働きかけてまいりたいと存じます。

一方、外環状道路の整備では、山側幹線の神谷内・金沢森本インター間の4車線化に向けた月浦トンネルの本体工事や、海側幹線4期区間の大宮川高架橋の上部工事に着手するなど、整備が本格化しておりますほか、都市内交通ネットワークの充実につきましては、現在、新しい交通システムにかかる導入空間の確保や、バス専用レーンの時間帯拡大実験等を踏まえた自動車交通への影響などについて、調査・研究を進めているところであります。

なお、移転が予定される、日本銀行金沢支店の跡地であります。中心市街地の賑わいにつながる活用策が望まれておりますことから、日銀や地元関係者等の動向に深い関心を寄せながら、市としてどのような関与ができるのか、検討してまいりたいと存じます。

次に、「個性が輝く魅力づくり」についてであります。整備が本格化している城北市民運動公園では、年間を通じて天候に関わらず様々な運動ができる、屋内交流広場の建築工事が完成し、現在、親子アスレチックゾーンの遊具等を順次設置しているところであり

ます。先般、指定管理者が選定されるなど、明年4月のオープンに一定の目途がつきましたので、スポーツで更にまちを元気にすべく、次に予定している市民サッカー場の再整備に向けて、基本計画の策定作業を鋭意進めているところであります。

また、東京オリンピック等のホストタウンの取り組みでは、フランスの水泳及びウエイトリフティングのナショナルチームの明年夏の事前合宿に向けて、受入準備を進めておりますほか、国内外からの各種スポーツ大会等の誘致にも、全力で取り組んでまいりたいと存じます。

一方、建築文化拠点施設についてであります。整備が順調に進んでおりますことから、検討懇話会の意見を踏まえ、施設の名称を「谷口吉郎・吉生記念金沢建築館」にしたいと考えております。明年夏の開館に向けて、今回、設置条例案をお諮りした次第であり、本市の建築文化の魅力を内外に広く発信していくことにより、文化に更なる厚みを加えてまいりたいと存じます。

さらに、金澤町家の保全・活用につきましては、解体時における事前届出の義務化や改修時の法的制限の一部緩和を図るための条例の制定等に向けて、準備を進めているところであります。

また、この春から実施してきた東アジア文化都市事業が、去る5日に終了いたしましたので、この間の文化芸術イベントや都市間交流の成果を、今後の東アジア地域における文化交流に生かしてまいりたいと存じます。

さらに、かねて整備を進めている東京国立近代美術館工芸館であります。名品展の開催やPR映像等の制作を通じて、開館に向けた機運の醸成に努めているところであり、県とともに、2020年の開館をめざしてまいります。

一方、眺望景観の創出についてであります。明春の眺望景観形成条例（仮称）の制定に向けて鋭意準備を進めておりますほか、先月末に、北國銀行とのタイアップにより武蔵ヶ辻におけるライトアップを開始したところであり、これをモデルケースとして、夜間景観の創出にかかる新たな市民協働のルールを構築したいと考えております。

次に、「未来を育む人づくり」についてであります。

教育は健全な社会を築くための礎であり、未来を担う逞しく心やさしい子供達を、社会全体で育ててまいらねばなりません。

先月、有識者や子育て世代の方々等からなる懇話会を立ち上げ、今後の子供施策の充実について議論を重ねておりますほか、教育環境の整備では、先般、新豎町小学校と菊川町小学校の統合校の名称を「犀桜小学校」、犀川小学校と東浅川小学校の名称を「犀川小学校」とすることで、それぞれ地元の合意が得られましたので、今回、学校設置条例の一部改正案をお諮りしております。

また、先月成立した国の第1次補正予算に、小中学校の普通教室へのエアコン整備費が盛り込まれましたので、市としても、エアコンの整備を前倒しすることとしておりますほか、青少年の学びの場となる長土堀青少年交流センター（仮称）につきましては、既存建物の解体や外構工事等に時間を要することとなったため、明年7月の開館をめざすこととした次第であります。

一方、子育て環境の充実では、保育需要の高い駅西・臨海地区において、新たな保育施設の2020年春の開設に向けて、事業者の公募を行うこととしておりますほか、検討会の提言を踏まえ、幼児の発達支援体制の充実について、議論を重ねているところであります。

また、かねて検討を進めてきた、子供の貧困対策につきましても、生活実態調査や支援団体への聞き取り調査等を経て、先般、基本計画の骨子案がまとまりましたので、近くパブリックコメントを実施した上で、年度内の策定をめざしてまいります。

一方、金沢美術工芸大学であります。先月、金沢大学が実施してきた工学部跡地の外構撤去工事が完了いたしましたので、引き渡しに向けた手続きを開始するとともに、新しいキャンパスの整備にかかる基本設計を鋭意進めているところであります。

次に、「安全で安心なくらしづくり」についてであります。超高齢社会の到来や近年の大規模災害の多発に備えるため、互いに支え合う安全で安心な福祉健康社会の形成が急務となっております。

このため、長寿安心プランに基づき、グループホームの建設に向けた事業者の選定を進めておりますほか、来月から、I o Tを活用した認知症高齢者の見守りネットワーク事業を開始いたしますとともに、フレイルの予防に向けて、市民サポーターによる高齢者の健康チェックに取り組むこととしております。

また、9月の大雨や台風で被災した道路等の復旧を急いでまいりますとともに、今年も雪の季節を迎えますことから、先月末に除雪作業本部を設置したところであり、昨シーズン的大雪を踏まえて抜本的に改定した道路除雪計画に基づき、雪害対策に万全を期してまいりますと存じます。

さらに、災害時における医療救護体制の強化をめざし、医師等の避難所への配置体制を見直すとともに、災害に備え、平常時に避難行動要支援者名簿を提供するための条例の制定準備に取り組むこととしております。

なお、市役所本庁舎で3月に発生した傷害事件を受けて、この間、防犯マニュアルの見直しや新たな警備機材等の導入を図るなど、安全管理体制の強化に努めてきたところであり、先月末に、それらを活用した防犯訓練を実施いたしました。今回の成果を今後の対策に生かしながら、市民に開かれた、安全な庁舎をめざしてまいります。

ところで、世界的に地球温暖化対策が急がれる中で、本市では、家庭ごみの指定ごみ袋収集制度の導入により、この間のごみ量が2割近く減少する一方、容器包装プラスチックの回収量が3割以上増加しております。こうした市民の皆様のご協力に応え、利便性の向上に資するため、第5週目がある月の容器包装プラスチックの収集回数を増やしたいと考えており、先月末に開かれた廃棄物総合対策審議会の了承もいただきましたので、明年4月からの実施をめざしてまいりますと存じます。

次に、「協働と連携の絆づくり」についてであります。

福祉、環境、教育、安全安心など、これからの重要課題の解決・前進には、地域コミュニティの充実と市民協働・広域連携の促進が欠かせません。

先月、金石地区の3町会の旧町名が復活しましたので、同じ金石地区の<sup>しんちよう</sup>新町、<sup>いままち</sup>今町及び

海禪寺町<sup>かいぜんじまち</sup>の復活に向けて、現況調査を進めてまいりますほか、旧観音町地区の3町会につきましても、明年春の復活に向けて、今回、町の名称の変更等をお諮りした次第であります。

また、9月末にオープンした市民活動サポートセンターでは、先月、ポータルサイトを開設いたしましたので、コーディネーター等による相談窓口や研修会等の活用を促し、地域団体やNPO等の総合的な支援に努めてまいります。

一方、広域連携を更に促進するため、近隣市町等の中で、様々な分野における連携を模索しているところであり、今後、上下水道事業の共同化や公共施設等の適正配置などについて、連携を一層深めたいと考えております。

加えて、かねて検討を進めてきた次期行政改革大綱の素案が、去る6日の行政改革推進委員会です承されましたので、年度末を目途に、取りまとめ作業を進めてまいります。

ところで、先月、私は議会のお許しを得て、イタリア、ベルギー、フランス等の国々を訪問してきたところであります。

最初の訪問先であるイタリア・ローマ市では、「かなざわ講座」を開催し、本市の伝統文化や食文化等の魅力を最大限にアピールしながら、誘客プロモーションを行うとともに、隣接するバチカン市国でローマ法王に謁見し、高山右近ゆかりの金沢市への来訪を招請してまいりました。また、ベルギー・アントワープ市では、友好親善に向けた相互協力を約束するとともに、フランス・ナンシー市では、スタニスラス広場で開かれた「聖ニコラ祭」において、加賀鳶はしご登りや加賀宝生を披露し、加賀料理や地酒の魅力発信に努めてきたほか、エナール市長への特別名誉市民証の贈呈を行った次第であります。今回の訪欧が、今後の友好交流や誘客の促進につながることを期待しております。

さて、年末・年始を間近に控え、これから明年度予算の編成作業が本格化してまいります。社会保障費や公共インフラの再整備費の増嵩など、地方財政を取り巻く環境は、引き続き厳しいものがありますが、地方が必要な一般財源総額の確保や地方分権の推進を国に求めるとともに、市としても、施策の重点化や年度間調整等にこれまで以上に工夫を凝ら

しながら、実効性のある施策の積極的な予算化に、私をはじめ職員一丸となり、全身全霊を傾けてまいりたいと存じます。皆様方の一層のご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

#### 【提出議案の説明】

さて、今回提出いたしました補正予算案は、子供施策の充実にかかる経費や、市民生活の安全・安心の確保に関する経費の追加のほか、職員給与費の整理などが主なる内容であり、補正額は、38億877万2千円となりました。

まず、都市整備・土木関係では、道路等の災害復旧経費を計上いたしましたほか、国の追加内示に伴い、緑住宅の実施設計を前倒しすることといたしました。

また、経済関係では、料亭や茶屋の改修への助成枠を追加するとともに、農林水産関係では、クマ・イノシシの被害防止にかかる経費のほか、木の家づくり奨励金の助成枠を追加しております。

一方、市民関係では、先に述べた金石地区の旧町名復活にかかる経費を計上するとともに、福祉・保健関係では、受給者数の増加に伴い障害者自立支援給付費を追加しております。加えて、私立保育所等の運営や保育士の業務改善にかかる支援費のほか、風しんの予防対策費を追加いたしました。

また、環境関係では、国の追加内示に伴い次期廃棄物埋立場管理棟の建設を前倒しいたしますほか、消防関係では、消防団の災害時における出動手当等を追加するとともに、教育関係では、先に述べた小学校のエアコン整備を前倒ししてまいります。

予算以外の議案では、「谷口吉郎・吉生記念金沢建築館条例」の制定など条例案10件のほか、屋内交流広場の指定管理者の指定など、その他案件4件をお諮りするとともに、過日専決処分した訴えの提起など2件を報告いたしております。

以上が議案等の大要でございます。何とぞ慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願い申し上げます。